

## 美化推進の取り組み

駅係員がリーダーをつとめる「美化推進プロジェクト」の一環として、エコキャップ活動に取り組んでいます。この活動は、ペットボトルのキャップを捨てずに回収することで、世界の子どもたちにポリオワクチンを届けることができるというものです。駅係員の休憩所などに回収箱を設置し、協力して集めています。

2年前の活動開始から平成23年3月末までに17万6,800

個のキャップを回収し、221人分のワクチンを届けることができました。この活動は、全社員のリサイクル意識の向上にもつながっています。

また、「きれいな地域づくり」のため、清掃活動を実施しています。



エコキャップ回収BOX



天の川河川敷(枚方市)での清掃活動

## 不動産事業での「共育(ともいく)」

当社が京都府京田辺市と八幡市において住宅地開発を手がける、計画総戸数約4,500戸の京阪東ローズタウンは、平成4年に街びらきし、今では3,700世帯を超える方々が住まわれています。

当社は、街びらきから、JR松井山手駅前に設けたコミュニティ施設「タウンプラザ」を拠点に住民の皆様による会員組織「たうんくらぶ」を運営し、サークル活動やイベントの開催など京阪東ローズタウン内の活動の応援を通し、住民の方同士の絆づくりを支えてきました。

そして、街びらきから17年目の平成20年、京阪東ローズタウン内のご家族の子育てを応援する取り組み「共育(ともいく)」をスタートさせました。「共育～地域の大人と子どもが共に育み、共に育つ～」の街を目指し、子育て応援施設「つくるところ [京阪東ローズタウン共育ステーション]」を開設しました。

「つくるところ」は、京阪東ローズタウンおよびその近隣の地域の人が主役となり、より地域に根ざした活動を行うことを目指し、NPO法人と連携して運営しています。「つくるところ」では、保育サービスや、地域の親子が交流できる「親子カフェ」、子どもが放課後の時間を自由に過ごす「放課後クラブ」など、子どもの自主性や創造力を育み、仲間や

親との共同作業を通して協調性やコミュニケーション能力を育むためのさまざまなプログラムを展開しています。昨年は、地域が子どもとともに学ぶ環境づくりのため、地域の人が先生になるプログラム「つくる講座」を開講。京阪東ローズタウン近隣の主婦の方によるパステルを使った絵画プログラムや、大学生による環境について考えるプログラムなど、多くの方と共同でさまざまなプログラムを開催しました。また、昨秋から、地域の大学生中心の企画「ミニ京都」を開催。子どもたちが会議を通して話し合い、子どもたちの手で子どもたちだけのまちをつくるこのプログラムは、「つくるところ」を代表するプログラムのひとつとなっています。

当社はこれからも、「共育」に共感していただける方々とともに、地域の人が主役となり、人と人が絆で結ばれる街づくりをサポートしていきます。



京阪東ローズタウンの街並み



大学生との共同プログラム「ミニ京都」

## 私たちも環境活動に取り組んでいます

### ▶ Message

電気部技術課では平成22年度の目標に対し、地球温暖化防止として駅照明設備更新時に高効率照明器具やLED照明器具を採用し、ホーム照明の消費電力削減に努めています。騒音・振動の軽減として、工事発注の際は近隣への騒音・振動の軽減を優先して設計しています。環境にやさしい物品の購入に関しては、エアコン更新時にグリーン購入法適合商品を採用しています。今後も環境にやさしい設計を心がけていきたいと思っております。



電気部 技術課  
設備設計担当  
不破 久

### ▶ Message

工務部保線課では、分岐器改良やロングレール化によりレール継目を撤去することで列車騒音振動の低減を図るとともに乗り心地向上にも努めています。平成22年度は樟葉駅構内の分岐器の一部を関節ポイントから弾性ポイント化したことが挙げられます。これにより、列車が分岐器を通過するときの継目音が軽減され、かつ保守作業の省力化にも寄与しています。今後も“お客さまにやさしい鉄道”を実現するため、積極的に環境活動への取り組みを行ってまいります。



工務部 保線課  
設計担当  
谷舗 義範